

M-style

〔エム・スタイル〕

みんなの **み**らいが **み**りよくあるものに
みんなによりそう **み**じかな **み**やけ



天童市議会議員 三宅和広 活動報告 No.9

今回の一般質問

天童市議会 令和7年6月定例会

今回は、次の2点について質問しました。

■相互交流協定を締結している自治体との交流事業への市民参加

天童市は、茨城県土浦市、群馬県館林市、北海道網走市、宮城県多賀城市と相互交流協定を締結しています。これらの自治体との交流をもっと盛んにするために、相手先で実施する事業に市民が参加し市民同士が交流する機会を作ってはどうか。

市長等の答弁 交流都市の相手先の事業に一般市民が参加することは、市民同士の交流がより活発になることにつながり、また、他の市民の関心の高まりにもつながると考えています。本市と各交流都市の双方が経済的、文化的に活性化が図られるよう、今後も様々な機会をとらえ相互交流を推進していきます。

また、網走等の物産展については、天童市観光物産協会に業務委託をして実施しています。市民の方の物産展への参加については、運営上の責務の問題、事故等に対する補償の問題があり難しいと考えています。

■カスタマーハラスメント対応マニュアルの策定

「カスタマーハラスメント」が社会問題として取り上げられる機会が増えています。6月4日にいわゆる「労働施策総合推進法」が改正され、カスハラ防止のための雇用管理上の措置義務が課されました。カスハラは行政の現場でも起こり得るものです。カスハラにより市職員の就業環境が害されることがないように「対応マニュアル」などを早急に策定する必要があるのではないのでしょうか。

市長等の答弁 今後、法改正の趣旨を踏まえてマニュアルを改定するなど、職員の円滑な職務の執行と安全確保について、一事業所として適切に対応していきます。また、防犯カメラのような物的なものが職員を守る手助けになるのであれば、そうした整備も進めていきます。

一般質問の様子を
ご覧いただけます



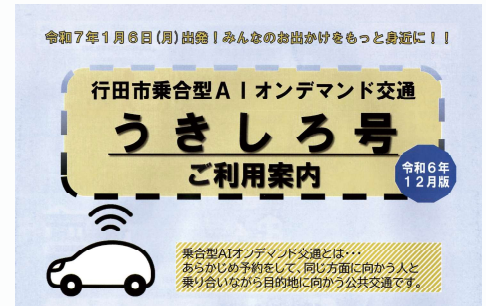
〔裏面もご覧ください〕

行田市・草加市・ふじみ野市を視察

私が委員長を務めさせていただいている環境福祉常任委員会で、埼玉県の3つの市に行政視察に行きました。

- ◎ふじみ野市 介護認定のデジタル化
- ◎草加市 認知症検診
- ◎行田市 乗合型 AI オンデマンド交通

行田市の乗合型 AI オンデマンド交通『うきしろ号』は7時30分から18時30分の間であればいつでも利用できます。さらに、市内全域で自宅での乗り降りが可能。天童市の乗合型デマンドタクシー『ドモス』よりも使い勝手が良さそうでした。たいへん参考になりました。



一般質問 その後 ひとり親家庭等の学習支援

私が市議会議員として初めて一般質問をしたのは平成27年12月の定例会です。その時の質問事項の一つとして、貧困の世代間連鎖を断ち切るために小・中学生、高校生を対象にした学習教室を開講してはどうかと提案させていただきました。当時、子どもの貧困率は16.3%で、6人に1人が貧困状態にあるとされていました。貧困は親子間で引き継がれる割合が高いとされ、貧困による教育の格差をなくさなければなりません。学習習慣を身につけ基礎学力を向上させるために、学習教室の開講を提案させていただきました。

天童市では、平成29年から家庭内での学習習慣が身に付きにくい傾向があるとされるひとり親家庭の子どもを対象に学習支援事業を実施しています。毎週土曜日の3時間、小学校1年生から高校3年生のひとり親家庭の子どもが対象です。

子どもたちが家庭の経済状況に影響されることなく学習習慣を身につけられるように、開催場所を増やすなど、今後さらに充実していく必要があります。

議事録は
こちらから



M-style

みんなの みらいが みりよくあるものに
みんなによりそう みじかな みやけ

みやけかずひろ

検索



こちらをご覧ください。
<https://miyake.exp.jp/SNS.html>